

平成23年度「親の振り返り」の取組（宇都宮市PTA連合会・教育課題委員会）

振り返りの結果から見えるもの

～子どもは、みんな育てよう。子どもは、ひとりでは育ちません。～

宇都宮市PTA連合会 教育課題委員長 福田智恵

取組の背景

昨年3.11の東日本大震災では、家族の絆や命の大切さを痛感させられました。生き方、価値観までも変えてしまう大きな出来事でした。これらのことなども踏まえ、市P連では4年前に作成した「親の振り返りカード・ガイド」を見直しました。特に「たくましく生きる力を持つ子どもを育てるため」と「家庭での災害対策の強化」に重点を置いて改訂し、「親の振り返り」の取組を実施することにしました。

「親の振り返り」の傾向

市P連では2回目となる「親の振り返り」の取組は、中学校26校中23校、小学校69校中62校、市全体では95校中85校で実施。前回のカードを使い毎年実施していた中学校1校を含めると中学校での実施は24校。前回も今回も未実施校は、小学校4校。

（前回；中学校26校中24校、小学校69校中60校、全体95校中84校）

全体の傾向として、挨拶の習慣があり①、躰を学校任せにしておらず①、生活習慣の定着に努め③、子どもの前での会話に気を付けている⑫保護者が多く、その意識は、低学年の保護者の方がより高く、また男性よりも女性の方が高い、と読み取ることができる。携帯電話⑨、PTA行事⑮、地域行事⑯は、前回と同様の推移であった。各種行事については参加したくてもできない状況も考えられるが、併せて土日の地域行事の開催や部活動の引率等との関係も考えられる。

災害対策⑱⑲は、3.11があったにもかかわらず、家庭での対策が十分とれていない現状にある。

前回に比べ、回答者数は男女ともに増加しているが、特に男性の意識に変化が見られた。また、家族で話し合う時間⑲に関しては、前回よりも大きく下回った。

※「親の振り返りカード」は、親の“気づき”の機会の提供を目的として作成したもので、振り返りによる自己評価はあくまでも主観によるものであり、絶対的評価ではありませんのでご了解ください（自分ではできていると思っているが、他人から見れば全くなってないことや、自分はダメだと思っているが、他人から見ればよくできていることもある）。

一番大切な宝物

「家族」「子ども」が95%以上、その他の答えも「家族に関連する内容」が殆どを占めていた。

保護者の感想

回答の多くが「親の振り返り」に肯定的な意見であった。親になれたことへの感謝を忘れずにいたい、子どもたちにとっての親の立ち位置を考える良い機会になった、もっと子どもと向き合おうと思った、子どもとの接し方を改めていきたい、子どもの自主性を伸ばし健全に育てるために親は大きな役割を担っていると改めて実感した、非常時の備えや家族の話し合いが不足していたことに気付いた、日常ではあまり意識していない事を思い起こす良い機会となった、「親の振り返り」を行ったことで親子・夫婦で話し合うことができた、子どもが幸せな人生を過ごし豊かな気持ちを持つためには大人達が色々なことを考え行動する事が大切なのだと思った等の感想が挙がった。

考察・総括

市P連が全市の公立小中学校で一斉に「親の振り返りカード・ガイド」を配布し、会員の皆さんが「親」としての日頃の自分を振り返るための機会を提示したこの取組は、大変意義ある活動であり、加えて前回の取組との比較もでき、市全体の傾向を掴むことができた。

3.11を経験しても備えをしていなかった家庭が多く、この取組によって、更に防災意識が高まり、自らが備える意識が醸成されたと考える。(災害時は交通機関の麻痺や多くの被災者救済が考えられるため、発災後3日間は自助による対策が必要であると言われている。)

本年度、回答のなかった会員の方々へも「振り返りカード・ガイド」が配布されていることで、活用いただき、一定の成果もあったと思われる。

また、一部に「親の振り返り」に対して、様々な意見も寄せられた。貴重な意見として参考にし、役立てていきたい。

今後は、子どもたちのよりよい生活環境を見出すために、振り返りの考察結果を、保護者と学校で共有し、更に連携を図り、入学式や授業参観日などの機会を捉えて保護者の意識啓発に役立てていただければ幸いです。

また、単位PTAの必要性に応じ、振り返りの項目を検討し、取組やすい実施方法を検討したうえで、子育ての一環として単位PTAが主体的に「親の振り返り」を進められることを期待いたします。

単位PTAでの調査では、本市のPTA活動が自ら問題を把握し、その解決に向けた取組を見出し、新たに“自立する保護者の会”に発展し得る可能性を予感いたしました。

もとより、PTAとは『保護者と教師の会』ですが、こうした取組が継続され発展すれば、私達自身が成長しつつ、保護者の立場でこれまで以上に、学校と共に子どもたちの教育・こころの育成に貢献できると確信いたしました。

多くの方々にご助言とご尽力をいただき、ここに一定の成果をあげることができましたことに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

【平成23年度 宇都宮市PTA連合会】

会長 長谷川武士(姿川中)

事務局 五十嵐てる 萩庭 文代

【教育課題委員会 研究同人】(16名)

◎委員長 福田 智恵(一条中) ○副委員長 清島 康伸(豊郷南小)
市P担当副会長 亀山 弘美(姿川中) 杉野 隆男(横川中) 柳田 良一(築瀬小)
委員 T小林 純子(豊郷中央小) T徳永 幸子(御幸が原小) T倉田 明男(清原中)
中村 光良(西原小) 金田 淳(富屋小) 篠崎 圭一(雀宮中央小) 木村 太郎(戸祭小)
安藤 広美(新田小) 今野 哲也(石井小) 小池 宏幸(宇大附属小) 齋藤 孝明(田原西小)

宇都宮市PTA連合会ホームページ <http://www.utsunomiyashi-pta.jp/>

・・・メンバーのつぶやき・・・

「教育課題委員会」凄い名前・・・

メンバーもきっと堅くてまじめで(眉間にしわよせて会議するのかな?)怖い・・・

初会合、確かにコワソーな人もいる。黙って座ってよう。

今年の活動は「親の振り返り」?なんじゃそれ?項目を読む。漫画もついているし結構面白い・・・

あるとき聞いてみた「この項目はどうやって決めたのですか?」

返答「自分の子育ての悩みを打ち明け、お互いに聞くことからこの項目を作ったよ。」

もひとつ質問「皆さんはこの項目できています?」

返答「がんばっているけどね…(笑)」なーんだフツーお父さん、お母さんだ。ちょっと安心。

みんな現役の子育て世代。子育ての「悩み」や「楽しみ」は大差ないのかも。

肩肘張らずに、子育ての「悩み」や「楽しみ」を話して、聞いてもらって・・・

そんな機会を他の保護者のみなさんに作っていく。それがこの委員会なのかな・・・(生意気ですね)

石井小学校PTA会長 今野 哲也